



2024年6月20日

各 位

ハウスコム株式会社
代表取締役社長 田村 穂
(コード番号: 3275 東証スタンダード)
問合せ先 経営企画部長 風間 直毅
電 話 03-6717-6939

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、2024年6月20日開催の取締役会において、「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会全体の実効性について分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要を下記の通り開示いたします。

記

1. 分析・評価の方法

当社は、取締役会全体の実効性について中立的・客観的に検証するため、第三者評価機関にその評価を依頼いたしました。第三者評価機関は2024年4月から5月にかけて取締役と監査役の全員に対して質問票を配布し、その回答結果を踏まえて、取締役会及びその諮問委員会（指名評価委員会）の構成、運営や、提出された議案について分析・評価を実施しました。なお、質問票には自由記入欄を設け、質問票記載の項目にとらわれず多様な意見や提言を吸い上げられるようにしています。

当社取締役会においては、上記分析に係る第三者評価機関からの報告に基づき、2024年6月の取締役会で取締役会の実効性について議論し、その評価と今後の対応を確認いたしました。

2. 分析・評価結果の概要

今回の第三者評価機関の分析結果においては、取締役会の実効性は概ね確保されていると認識されていることが確認されました。当社の取締役会及びその諮問委員会の現状に対する取締役及び監査役の評価は総じて高く、取締役会及びその諮問委員会において重大な課題に対する十分な議論が行われており適切に運営されていることが示されました。当社取締役会は、第三者評価機関による分析・評価の報告を踏まえて討議を行い、その結果、取締役会の監督機能が十分に発揮され、高い実効性が確保できていると評価いたしました。

一方で、取締役会の実効性を更に高めていくために、「資本コストを意識した審議の充実」「株主（投資家）との対話」「業績指標に関わる議論の深化」「役員トレーニングの機会充実」などが今後の課題であると確認いたしました。

3. 今後の対応

当社は、今回の取締役会全体の実効性に関する分析・評価を踏まえ、取締役会の実効性向上に努めるとともに、コーポレートガバナンス体制の一層の充実と更なる企業価値向上を目指してまいります。

以 上